附高新聞

平成23年　5月26日

≪発行所≫
金大附属高校
新聞編集局

≪発行人≫
竹内　さやか

部活動の大会といえば、もちろん6月の初めにおこなわれる総体・総文だろう。だが、それ以外にもその部活によってさまざまな大会があるもの。そこで、4月から5月までの各部活動の記録を紹介しよう。（竹内）

部活動の記録　春の大会

●女子バレー部
県バレー祭
対伏見　0-2

●男子バスケ部
張江杯金沢地区予選　参加

●女子バスケ部
張江杯金沢地区予選　参加

●男子サッカー部
U18三部Aリーグ戦
対金沢向陽　10-2
対飯田　6-1
対金沢商業　2-1
対松任B　5-2
対遊学B　3-2
対津幡　6-0

●男子ハンドボール部
春季ハンドボール大会
対泉丘　14-35

●男子テニス部
U18シングルス
三位　桐生（北信越出場）

●女子テニス部
U18シングルス
ベスト16　山村

●剣道部
金大旗争奪春季大会
男子団体
対金高専　勝
対市立工業　負

●男子バドミントン部
金沢地区選手権大会
団体
ベスト8　毛利・村田
山下・池田
シングルス
ベスト32　毛利
寺田

●陸上部
金沢地区記録会　参加

●卓球部
国体予選　参加

●将棋部
高校将棋選手権石川県大会
男子団体
準優勝　才田・西村・木村
三位　金子・林・三村
女子個人
三位　中本

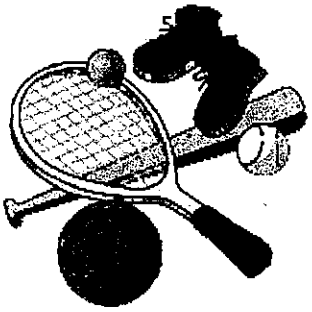
附属高校の部活動に「強豪」と言えるものはあるのか、というと必ずしもそうではない…というより、むしろ弱い部類に入っていたのではないだろうか。しかし今回の結果は、いい意味で期待を裏切るような結果となった。

目指せ！二次リーグ

現在サッカー部は、週に一度のペースで行われているリーグ戦に参加しているらしい。上の成績もその試合の結果で、今のところ連勝中。そしてここには載っていないのだが、今のところリーグで一番の成績だという。「恐らく今のサッカー部は、私が見てきたなかで一番強い。」（山本先生談）らしく、この調子で成績を伸ばしていけば二次リーグに上がれるのだそう。目指せ二次リーグ！ということで、これからの試合でも良い結果を出すべく頑張ってほしい。

本部もびっくり

また、男子バドミントンの試合では、上の結果には載っていないものの特筆すべきことがあったとか。なんでも、男子シングルスの試合で24年ぶりに強豪市立工業を破ったらしい。「たまたま本部の目の前で試合をしていたが、勝った時には本当に驚いていた」（高橋先生談）という。残念ながら後の試合で負けてしまったが、次の総体での結果に期待したい。



そして、テニス部では男子シングルスで三位という好成績をおさめ、夏頃に北信越大会へ出場する選手も。

今回、春の大会がないなどでほとんどの文化部と一部の運動部は結果を載せることができなかった。しかし、それらの部もこれからの大会に向けて練習を重ねている。今回思った通りの成績が残せなかった人も、結果が出せた人も、次の総体・総文で練習の成果が思う存分発揮できるよう、健闘を祈っています。

さあ、始めよう

……とまあ、いつもならこぞとばかりに新編の勧誘をしていたところだが、今回はちょっと違う。

部活動特集の新聞を出すにあたって、どうしても気になったのが部活動別部員数。もっと言うと、一年生がどれだけどの部活動に入ったのか。わが校はほかの公立高校とは違い入部が義務づけられていない。ということは、ただでさえ人数が少ない附属高校、部員不足に悩まされる部活も少なくない。

例年そうなってしまうのだが、部活によって入部人数に偏りが出てくる。今年は、下から順に

●将棋部…0人
●女バレ…1人
男バレ…1人

続く…

という状態。

で、部員不足がどれだけ深刻かというと、ひどいところでは試合に出られないほどに深刻だったりする。一生懸命練習をしているのに、試合に参加することすらできないなんて…。でも裏を返せば、だれにでも活躍の場が与えられるであろうということ。そこの無所属のあなた、またこの学校は兼部がしやすいということで、部活に入っているあなたも、もし興味がある部活があるのなら、ちょっと参加してみようかな…という軽い気持ちで行ってみたらどうだろう。先生の耳元で「○○部…」と囁いてみるのも良いかもしれない。きっと笑顔で振り向いてくれるだろう。

と、いつもの新編の勧誘のようになってしまったが、やはり折角だから…ということで書かせてもらうことにした。言うまでもないが、私の中では新編ももちろん今回の「部活動」に入っている。そしてなんと将棋部と肩を並べていて、一年生の局員は現在0名。……新聞編集局では随時局員を募集しています！！

（竹内）